

第5章 みやまえ区民会議フォーラム2015

このまちの 魅力とくらしを 語り合うフォーラム

1 企画の概要

宮前区区民会議では、地域の皆さんに①審議調査活動を報告すること、②「区民会議」をもっと知っていただくこと、③区民会議の取り組みに意見をいただき、参加していただくこと、の主に3つの目的で、「区民会議フォーラム」を毎年、年度末に開催しています。

今年度は、各専門部会での審議が始まったばかりで、具体的な取り組みの方向をこれから決めていくところであるため、特に③の目的に重点をおいて開催することを、第3回・第4回全体会議で決定しました。

企画の内容を決めるために、企画部会1回、拡大版企画会議を2回開催し、この他に有志による開催直前打ち合わせ会も開催、入念に議論を交わしました。その結果、次のような企画を決定、開催しました。

開催日：平成27年3月15日（日）

①みやまえ魅力探訪ツアー（路線バスミニツアー／各地現地ガイドつき） 10:00～14:00

まちの魅力を語るためのネタ探し。地域資源の魅力を直接体験、理解を深めるツアー
 Aコース：影向寺・橘樹郡衙跡～甘納豆駿河屋～南野川ふれあいの森（昼食）～区役所
 Bコース：水沢の森～平瀬川～とんもり谷戸（昼食）～区役所

②語り合いカフェ（区役所4階大会議室） 13:00～15:00

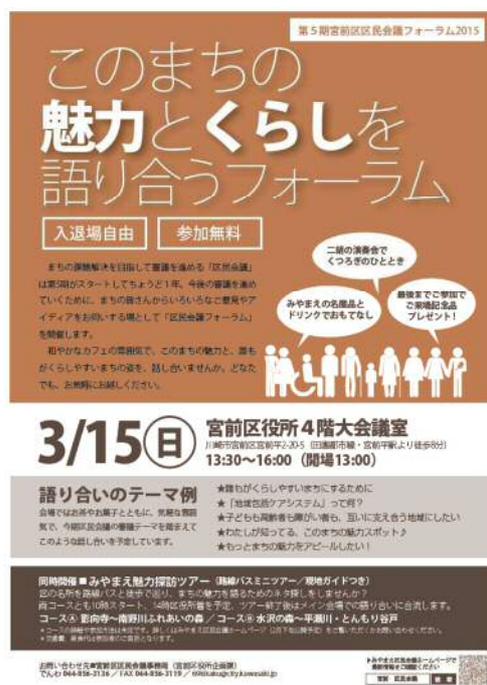
お茶やお菓子のおもてなし、気軽で和やかなカフェの雰囲気、語り合う場
 13:30～14:00は話題提供として、地域支え合いに関するミニ講演、事例紹介映像放映を実施
 14:00過ぎから、後方でツアー写真スライドショーを投影

③区民会議フォーラム全体会（区役所4階大会議室） 15:15～15:45

第5期宮前区区民会議審議経過報告 質疑・意見交換

④その他の企画

スペシャルパフォーマンス 区内在住中学生による二胡の演奏 15:00～15:15（休憩時間中）
 会場展示 カフェ周辺等で関連テーマや区内資源の展示
 宮前特産弁当の提供（ツアー参加者、スタッフ）



2 みやまえ魅力探訪ツアー

委員が「路線バス途中下車の旅」の試行実施等を通じて触れ、感じた宮前の魅力的な地域資源を参加者に体験していただくツアーとして2コースで企画しました。

各コース、区民会議委員がコースリーダーをつとめ、コース案内や時間管理等を行った他、各地の資源では関係者にガイド（案内・解説）をお願いしました。

みやまえ魅力探訪ツアー Aコース

10:00～14:00 出席者：9名 影向寺前集合

▶影向寺…ガイド：加藤住職

県内屈指の古刹を住職自らの案内で見学。通常は見ることのできない薬師堂の内部等も案内していただきました

「影向寺の薬師堂に入れて感動しました!!」「住職からお話しをいただき、大変有意義でした」

▶橘樹郡衙跡…ガイド：宮前観光ガイドの会・宮前の歴史を学ぶ会のみなさん

奈良・平安時代の武蔵国橘樹郡の役所跡一帯を観光ガイドの案内で見学しました

「郡衙の建物を再現保存し、市民のいこいの場にしていきたい」



▶甘納豆の駿河屋…ガイド：女将 瀬戸さん

定休日の店内・工場内を特別に見学。甘納豆の由来等、女将の瀬戸さんに説明いただきました

バス 鷺02 鷺沼駅行き 能満寺→稲荷坂

▶南野川ふれあいの森（南野川緑地保全地区）…ガイド：野川はあも 伊藤さん

里山自然の保全や観察、子どもたちの自然学習支援などの活動をしている伊藤さんにお話しを伺いました

「自然が残っていてとても楽しかった。ぜひいつまでも残してほしい」



バス 鷺02 鷺沼駅行き 稲荷坂→鷺沼駅（乗り換え） 鷺11 宮崎台駅行き 鷺沼駅→土橋

▶宮前区役所 フォーラム会場に合流

みやまえ魅力探訪ツアー Bコース

10:00～14:00 出席者：5名 水沢の森 高台

広場集合

▶水沢の森（菅生緑地西地区・宮前区市民健康の森）…ガイド：水沢森人の会 水野さん・佐藤さん

緑地の案内だけでなく、活動団体の定例の里山活動の現場も見学しました

「手入れされて人が集まれる里山がこれほどあるとは知りませんでした」「水源地が印象的だった」

▶平瀬川流域・徒歩散策…ガイド：平瀬川流域まちづくり協議会 松井さん

平瀬川流域を歩きながら、親水空間やまちづくりのお話を伺いました



バス 溝17 溝口駅南口行き 蔵敷→初山

▶とんもり谷戸…ガイド：平瀬川流域まちづくり協議会 松井さん

ホタルが生息するせせらぎや周辺の緑地、植物等を案内いただきました

「入口付近は知っていましたが、中にはすてきな森ができていて発見!!」



バス 溝18 溝口駅南口行き 初山→向丘出張所

(乗り換え) 溝15 宮前区役所前行き 向丘出張所→宮前区役所前

▶宮前区役所 フォーラム会場に合流

宮前特産弁当（協力：デリスタ スエヒロ）

宮前地場産野菜、第5回みやまえC級グルメコンテストグランプリ受賞メニュー「野菜まん菜ベジローフ」を盛り込んだ、この日のための特製おにぎり弁当をツアー参加者・協力者・スタッフでいただきました。



おしながき

- 一、ふきみそおにぎりと菜の花おにぎり
- 一、大根と手羽中の煮物
- 一、野菜まん菜ベジローフ
- 一、ほうれん草入り卵焼き
- 一、ブロッコリーとジャガイモのコロッケ

*野菜はほぼすべて地元産を使用

3 語り合いカフェ「このまちの魅力とくらし」

区役所の大会議室が手作りの飾り付け等で、居心地の良いカフェに早変わり。来場者を温かい飲み物やお菓子でおもてなし、このまちの魅力やくらしについて語り合う場を設けました。区民会議委員一人一人が各テーブルで地域の方々をお迎えし、いただいたお話しやご意見を記録しました。

最終的にはスタッフも合わせて、約60名もの方にお越しいただき、各テーブルの会話も盛り上がり、大変賑やかな場となりました。

会場周辺には区民会議委員が所属する団体や今回のフォーラムに協力いただいた市民活動団体の紹介資料や、区民会議のこれまでの取り組みなどの資料も展示しました。

語り合いカフェ「このまちの魅力とくらし」 宮前区役所4階大会議室 13:00～15:00

13:00開場 「語り合いカフェ」開店

13:30開会 川田副委員長あいさつ

▶お茶菓子の提供

6人～8人がけのテーブルに手作りの折り紙のお花などで飾り付け、飴やチョコレート、御煎餅などのお菓子を用意しました。飲み物は注文制でボランティアが用意し、各テーブルにお届けしました。

また、参加者には受付で「宮前名物のおやつ」引換券を一人1枚配布、宮前ロールと抹茶＆ココア甘納豆などが提供されました（引換は14:00過ぎから開始）



▶話題提供：地域支え合い

ミニ講演「地域包括ケアについて」…レストア川崎地域包括支援センター看護師 吉川佐織さん

事例紹介VTR①土橋カフェ NHK番組 「認知症わたしたちにできること」より

事例紹介VTR②横浜市栄区公田町団地 NPOお互いさまねっと公田町と交流サロンいこい

▶話題提供：宮前区の地域の魅力

みやまえ魅力探訪ツアー 写真スライドショー（会議室後方で投影）



テーブルでの語り合い記録から（一部抜粋）

■誰もがくらしやすい地域、地域包括ケア、地域の支え合い、などについて

- ・稗原団地は戸建て団地で、初期の入居者の方々が一斉に高齢化している、独居の人も多い
- ・認知症の方の見守りは容易でない。何か地域で組織的にできれば良い
- ・認知症の理解を広めることも重要。家族が見抜けないこともある
- ・マンション生活は隣人との関係が希薄
- ・高齢者以外にも、障がい者やシングルマザーなど困窮者はいる。皆が自分の問題として取り組む
- ・地域包括支援センターが充分地域に知れ渡っていない。もっと外に出て行ってほしい
- ・若い世代の人も役割を持たせることで、イベントなどへの参加率が上がる
- ・他の団体と一緒に活動することで、子育てサロン活動への参加率が上がっている
- ・土橋カフェは、地域ケア会議の場で要望が出たことがきっかけで誕生した
- ・カフェの設置には場所の確保が第一
- ・団地で防災訓練を積極的にやっている、訓練を通じて要支援の人も把握できてくる
- ・他の人と肩肘はらない交流の場があることが必要。規模は小さくても良い
- ・神木町会の「コーヒーの会」には毎回40～50人が参加している
- ・あいさつ運動と一緒に、町内会・自治会が見守り等してはどうか



■宮前区の地域の魅力・資源、そのアピール、プロデュース方法、などについて

- ・資源への交通アクセス改善も課題、総合的な地区計画が重要
- ・道順等を示す「標識」や資源を解説する「看板」をもっと設置する必要がある
- ・看板のスポンサーを募る。企業名や出資者の名前を入れても良い。実行委員会をつくって管理する
- ・観光ボランティアの充実が必要。ガイドブックも改訂する（既存のものは使いにくい？）
- ・影向寺・橘樹郡衙の国の史跡に指定を記念したお菓子をつくってはどうか。土産店ができるとうい
- ・川を活かしたまちづくり。小中学校と連携する、子どもたちのふるさとづくり
- ・自然に関われる何かを増やす。子どもと大人が共に楽しめる場所にする、親子体験が重要！
- ・水沢の森は縄文の森でもあるので、専門の看板、竪穴式住居の再現などしてはどうか
- ・土器づくり、火起こし、古代人の食べ物づくり（どんぐり団子など）の縄文イベントを開催する
- ・区境を越えた連携が必要、市民の要望がカギになる
- ・小中学生の自由研究の夏休みツアーを企画する
- ・里山や川のツアー、ボランティア体験を私・公立問わず授業に活かせると良い。ニーズはあるはず
- ・ふるさとづくりは、豊かな遊び場づくり。自然とダイナミックに遊ぶことで、強く優しく育つ
- ・ガイドがあると情報に深みが増す、一人歩きだと素通りしてしまう魅力や景色に気が付かされる
- ・環境をテーマに学生・大人をターゲットにしたエコツーリズムを展開する
- ・全5・6回で「みやまへの自然めぐり講座」を開講する
- ・掲示板でおもしろ豆地域、トリビアなどを発信する



スペシャルパフォーマンス 二胡演奏 畑澤舞奈さん（区内在住）



語り合いカフェと区民会議フォーラム全体会の間の休憩時間に、区内在住の中学生、畑澤舞奈さんによる二胡演奏が披露されました。畑澤さんは中学生ながらも10年以上の演奏歴を持ち、第17回「長江杯」国際音楽コンクールで入選されるなどの実績をもっています。



♪演奏曲目♪

- ① 剣舞
- ② 何日君再来
- ③ 夜来香
- ④ 蘇州夜曲
- ⑤ ソングオブライフ(アンコール)

4 区民会議フォーラム全体会

スペシャルパフォーマンスとしての二胡演奏もあった休憩時間の後、最後に全体会を開催しました。

佐々木副委員長、川畑部会長、青柳部会長から区民会議の概要とこれまでの各部会の審議・活動経過の報告、質疑応答の後、宮崎委員長の閉会あいさつで閉会となりました。

宮前区PRキャラクターの「宮前兄妹」や「カッチャン」も会場に駆けつけ、参加者の皆さんに記念品の「メロー&コスミン特製マグネット」を配りながら、お見送りしました。



■フォーラム参加者アンケート 自由記入欄等への記載から（一部抜粋）

- ・もっとゆっくりお話したかったです
- ・世代をこえた交流ができた事がよかったです
- ・カフェをオープンしようと計画しているので、土橋カフェの話をお聞きして参考になりました
- ・商店街などもまきこんで、日常生活を送る中で見守る目を増やすことが大切な気がします。
- ・いろんなツアーで宮前区をまわってみたいと思います
- ・小さな子どもからご高齢の方まで、歩いていけるコースを歩いてみたいです。
- ・影向寺、郡衙遺跡、古墳等をトータルで史跡観光としてアピールできれば良いですね！
- ・区の物品、特産品を売るコーナー(常設) がどこかにあると楽しいと思います
- ・町の枠を超えて参加できるようなイベントを企画した方が良い。